

学習成果の評価(基準・方法)と客観的な指標の設定について

1. 評価方法と成績について

各授業科目において、前期・後期それぞれにおいて定期試験を実施。ペーパー試験を基本とし、一部技能演習科目においては実技試験、また専門科目によってはレポート課題を実施し、試験による得点と出席率を階層ランクに応じて各 10 点満点配点のポイントに置き換えて、合計 20 点満点でのポイントに応じて「A 評価」「B 評価」「C 評価」「D 評価」「F 評価(単位不認定)」の 5 段階評価を算出します。

尚、試験点数が同一教科全クラスの平均点の 50%未滿、または出席率 50%未滿のどちらかの場合には、「F 評価(単位不認定)」と評価算出しています。

理解力や点数では評価ができない科目(学校行事やホームルーム等)については、出席率 70%を起点に以上を「R 評価(単位認定)」、未滿を「F 評価(単位不認定)」と評価します。

また、ホテル・ブライダル企業実習においては、実習期間中の企業からの評価と就労時間数に応じた単位数を付与するものとします。

さらに本校では、学習意欲を評価する面からでも検定資格試験の受験・取得を奨励しており、本校が推奨するホテル・レストラン・ブライダルの各業界と職種、語学やビジネス実務に関連した資格取得に際してはその取得した級等により、所定の単位を付与し、1 年間で最大 5 単位を上限とし単位認定を行っています。

2. 客観的な指標の設定と成績分布状況の把握について

客観的な指標の設定には、「A 評価」から「F 評価」に、それぞれ所定のポイントを掛けた合計点を総科目数で割りスコアを算出し、そのスコアをもって成績分布を算出します。

$(A \text{ 評価} \times 5P \times \text{科目数}) + (B \text{ 評価} \times 2P \times \text{科目数}) + (C \text{ 評価} \times 1P \times \text{科目数}) + (D \text{ 評価} \times -1P \times \text{科目数}) + (F \text{ 評価} \times -5P \times \text{科目数}) \div \text{総科目数} = \text{スコア}$